

岩手地方最低賃金審議会第2回専門部会議事要旨

岩手労働局

令和8年8月7日 13:30～15:44

○ 主な審議事項 〈公開・ 非公開 〉 1 金額審議 2 その他	出席状況	公益	3／3
		労側	3／3
		使側	3／3
○ 審議要旨 1 金額審議 金額審議に入る前に事務局より、各局の審議結果について、県内ハローワーク及び労基署から確認した昨年度の最低賃金引上げ及び指定発効の影響等に係る相談内容等について、第1回専門部会での委員からの要望資料について、第3回審議会で委員からなされた目安に関する公益委員見解に対する質問の厚生労働省回答について、それぞれ報告した。 労働者代表委員からは、2020年代に全国加重平均1,500円の達成に向け、2025年から5年間で到達することを見据え、残り4年で1,500円に到達するとの考えで金額提示がなされた。 使用者代表委員からは、法定3要素を基本として、これらを総合的に表す賃金改定状況調査を重視した考えで金額提示がなされた。 労使それぞれの金額提示等に対する議論が行われ、部会長から提示金額の開きが大きいと、金額を再提示することの提案があり、労働者側から2回目の金額提示がなされたが、使用者側からは本日の金額提示は見送るとの意向が表明され、部会長の判断により審議は次回専門部会への持ち越しすることとなった。 2 その他 なし。			